

ふくし TIME'S

<http://www.knsyk.jp>

福祉タイムズ



ともしび運動

2

2011 No. 711



人と人とのつながりが、宝物です

〈写真・菊地信夫〉

浅野朝子^{あさの}さんは、1983年12月1日に民生委員児童委員を委嘱されて以来、27年が経った。活動を始めた当初に比べて担当地区の高齢化が進み、現在は半数が高齢者世帯となり、継続的に訪問している独居高齢者は40名以上にのぼる。

浅野さんが持つ民生委員児童委員手帳は、紙を継ぎ足しながら、活動の記録、関係機関からの情報などが記され、年末には元の厚さの3倍にもなる。必要な情報を選んで新しい手帳に書き写すのが、毎年初めの仕事だ。多忙で責任も重い委員活動だが、やりがいもある。住民同士のつながりが希薄になる中、道を歩けば活動を通じて出会ったたくさんの方々が笑顔で声をかけてくれる。「お金で換えられない、委員にとっての『宝』ですね」と目を細めた。

CONTENTS

特集

急がれる民生委員児童委員の担い手の確保や

活動しやすい環境整備 2

NEWS & TOPICS

自らの体験や感じたことから～県福祉作文コンクール表彰式開催ほか

FOCUS「利用者本位を地域で支える」 6

でかけてみませんか 7

連載

社会的ケアの広がり～個人と家族を支える～第11回～ 8

県社協のひろば

児童福祉施設への匿名寄附、各地に 10

かながわHOT情報

ともしびショップなのはな（中郡二宮町） 12

急がれる民生委員児童委員の担い手の確保や活動しやすい環境整備

平成22年12月の民生委員児童委員の一斉改選において、これまでにない欠員が出るなど、民生委員児童委員の担い手の確保をはじめ、近年、地域福祉を推進する上で民生委員児童委員の活動のあり方が社会的にも注目されています。

ここでは、今回の一斉改選の状況等をもとに、委員の担い手の確保状況や活動をめぐる課題等についてまとめます。

一斉改選の状況

平成二十二年十二月一日に実施された全国一斉の民生委員児童委員の改選において、全国では二十三万三千九百五十名の定数に対し、二十二万八千五百五十名の委嘱数、充足率は九八%弱となりました。

本県の状況は、指定都市・中核市・県域併せて四百四十三名の欠員という状況で、前回の改選と比較しておおむね欠員数が二倍という結果になりました(図1)。これを受けて、県では通常、四月・八月・十二月の年三回が民生委員児童委員の委嘱の時期であるにもかかわらず、この欠員を少しでも補充しようと、今年異例の二月に委嘱事務を行います。

欠員増の背景にあるもの

この数年余りの間、民生委員児童委員のなり手の確保の難しさが指摘されてきましたが、今回こうした欠員を生んだ背景としては、次のような社会的な状況があげられるのではないのでしょうか。

まず、民生委員児童委員活動の広がりや、多忙な状況があげられます。県も「地域福祉推進の要」地域住民の身近な相談役「などと言うように、委員が地域できめ細かな活動を進めることによって、孤立しがちな人の発見や見守り、児童虐待の予防などにつながっていることは事実です。

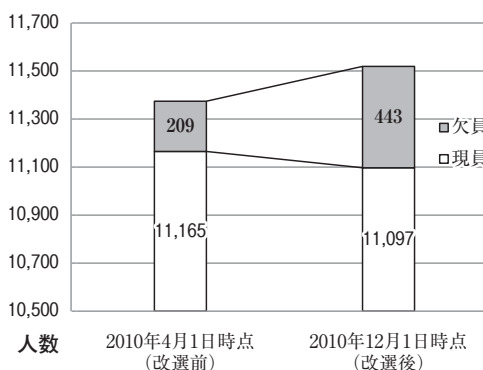
しかし、以前なら近所が互いに事情をよく知っていたり、注意し合ったり、助け合ったりして対処できていた事柄が、現在は「民生委員児童委員のあなたが、何とかしてください」と住民から持ち込まれます。いわゆるゴミ屋敷や騒音といった、周囲から非常識と思われるような行動をとる人への対応など、地域の「困りごと」を解決するように迫られ、強いストレスを感じている委員も少なくありません。

加えて、昨年夏の百歳以上高齢者などの所在不明問題が起こった際に、「民生委員児童委員はどうして把握していなかったのか」といった報道が一部でなされたことに伴い、委員としての責任の重さ

や活動の大変さがクローズアップされたことや、委員の高齢化があるのではと考えられます。

次に、平成十七年四月の「個人情報保護に関する法律」の施行に伴って、個人情報に関する過剰反応から、自治体等を中心に個別支援に欠かせない要支援者の情報を、民生委員児童委員に示すことを控えるようになったことがあげられます。さらに、住民のプライバシーに関する意識も高まったことで、個人への情報収集も困難になると同時に、自ら支援を求める住民も減少し、委員としては効率的な支援活動がしづらく、ますます負担感を増す結果になっています。

(図1) 改選後の人数比較 (県内合計)

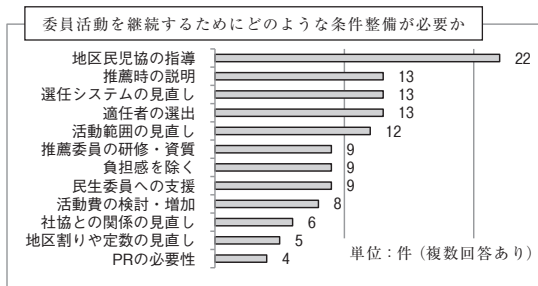


また、民生委員児童委員を推薦する手続き上の課題もあげられます。各地区の自治会等を通じて委員の推薦をする市町村が多いため、まずは自治会長をはじめとする自治会関係者に、委員の活動を正しく理解してもらうことが重要になります。最近では自治会役員も一、二年で交代してしまうことが多いため、毎年民生委員児童委員の位置付けや活動について説明し、委員推薦の必要性を理解してもらわねばならず、これがなかなか困難となっています。

平成二十一年に神奈川県民生委員児童委員協議会（以下、「県民児協」）が行った、一期（三年間）以内に退任された民生委員児童委員に対して実施した調査（図2）でも、ほぼ同様の傾向がうかがえます。

せっかく熱心に活動しようと思っても、住民に委員としての立場や活動が正しく理解されず、警戒されて傷ついたり、自治体からは「個人情報を出せない」という一方で、ひとり暮らし高齢者の調査や祝品の配布などを依頼されるな

（図2）「民生委員児童委員退任理由に関する調査」（平成21年3月県民児協実施／1期のみで退任された委員の所属する地区会長対象／82名回答）



主な意見として
 ・活動内容の実態を伝え、納得の上で就任してもらうようにする（8名）
 ・推薦時の説明が不十分で、「1期3年間だけやればいい」と思われる

活動しやすい環境づくりのために

このような状況を受け、県・指定都市、市町村等のそれぞれにおいて、民生委員児童委員の負担感を減らすなど、活動しやすい環境の整備が喫緊の課題となっています。

これについては平成十八年一月に示された横浜市社会福祉審議会の「民生委員あり方検討専門分科会報告書」地域福祉の推進に向けた新たな民生委員、主任児童委員

のあり方」で、平成十六年十二月の一次改選の状況を受け、「委員の役割の増加、負担感などを理由に担い手が不足する状況があり、地域から候補者を推薦することが難しい」として、「民生委員、主任児童委員の役割の明確化」の必要性があげられています。また、県・川崎市・相模原市でも、委員の役割やあり方について検討する、また今後予定されています。

本年一月半ばに開催された「県行政と県民児協常任理事との懇談会」では、県民児協の常任理事から「委員をサポートするような役割の人や、委員が退任した後をスムーズに引き継げるようなサブ委員など、新たな仕組みをつくることも必要ではないか」などの声が出ています。また、「委員活動を安心して継続していくためには、もっと関係機関や専門職による協力が必要だ。住民にも民生委員児童委員の活動内容を理解してもらえらるよう努めたいので、県をはじめとする自治体も、積極的に広報や専門職への啓発などで協力してほしい」といった要望も出され

今後の取り組み

ました。これに対し、県側からも「民生委員児童委員の役割だけをうんぬんするのではなく、もっと広く、地域の支え合いのしくみをつくっていくことが課題だと考える」との意見が出され、委員の活動をさまざまな側面からサポートする仕組みや、人、取り組みの必要性が指摘されました。

本会民生委員児童委員部会と県民児協では、今後、それぞれ部会委員会や専門委員会での委員の声を中心に、民生委員児童委員の負担感に関する分析を進め、少しでもその負担を軽くする方策の検討を予定しています。

地域住民の視点で、また自治体の協力者として、住民が安心して生活できる地域づくりの要として活動している民生委員児童委員です。委員の役割は、各行政機関との連携は言うまでもなく、住民の方々の温かい支援や思いやりの輪が広がることによって、より発揮されるのではないのでしょうか。

（生活支援担当）

自らの体験や感じたことから 県福祉作文コンクール表彰式開催

去る一月二十二日に第三十四回

神奈川県福祉作文コンクール（共催：県共同募金会、後援：県・市町村教育委員会、NHK横浜放送局、神奈川県新聞社、テレビ神奈川、日揮社会福祉財団）の表彰式を開催しました。県内小・中学生の応募作品一万四十八編の中から、優秀賞十六編、準優秀賞と佳作各二十編が選ばれました。



写真は、県知事賞（中学生の部）の作品を手話で朗読する遠藤麻衣さん（県立平塚ろう学校）。小学生の部は、坂本凱力さん（相模原市立中野小学校）が朗読しました

本会の林会長は「年明けから全国に広がったタイガーマスク運動のように、皆さんも作文で『心のともしび』を伝えていってください」とあいさつ。

土屋審査委員長（テレビ神奈川）からは「皆さんの作品のように、お互いを認め合って理解を深めていければ、より良い社会になるはずです。温かい人間性を大切に培ってください」と講評をいただきました。（ともにび運動推進担当）

優秀賞 神奈川県社会福祉協議会長賞

ぼくの弟

開成町立開成小学校 六年 高橋 将也

今年ぼくの弟がぼくと同じ小学校に入学しました。兄弟なら当たり前だけれど、ぼくの弟は障害があるので両親に「別の小学校に行くかもしれない。」と言われていたから、同じ小学校に入学してうれしく思いました。

ぼくが弟に障害があると知ったのは三年生の時です。父が「弟はお前が通った幼稚園には行かないんだよ。自閉症という脳の機能障害があるから……」と教えてくれました。

ぼくは障害という言葉にとてもびっくりしたし、「弟は元氣なのに……」と不思議に思いました。ぼくが知っている「障害」というのは、体が不自由で目が見えなかったり、耳が聞こえなかったり、歩けなかったり……弟とは違ったからです。でもその頃の弟は四才だけれどほとんど話さなくて、ぼくをお兄ちゃんと呼ばないし、「おはよう。」と声をかけても答えないし、たまにCMのマネや誰かが言った言葉をくり返して言うだけでした。例えば、弟がうろうろしているから「何したいの?」と聞いても「何したいの?」と弟は同じ言葉を言うので、何がしたいのかぼくには全然わかりませんでした。

「自閉症というのは、言葉の遅れや対人関係・社会性の障害、行動や考え方にこだわりがある」と父が教えてくれました。こだわりや苦手なことはその子それぞれ全然違うから、その子に合った対応をしてあげることが大事なんだそうです。弟は大きな音や声が苦手で、小さな頃ぼくが怒られたりしていると、関係のない側によく泣いていました。人が争ったりするのも苦手です。テレビで怒っている人がいたりケンカをしたりしていると、「テレビ見ないよ。」と消したりします。ぼくが好きなマンガを消されるとくやしくて弟に文句を言ってしまうけれど、目に涙いっぱいの顔を見ると弟がすぐくわかったのだということが分かります。ぼく達を感じるより、もつとずっとこわく感じてしまみたいでね。誰かが泣いているとティッシュを持って来て「はいどうぞ、泣かないでね。」と弟はわたしを持って来てくれます。そんな優しい弟がぼくは好きです。

弟には苦手なこともできないこともあります。ぼくが助けていきたいと思います。そして、今のまま優しい弟でいてほしいです。

デートDV専門電話相談 「デートDV110番」開設

本県では、「交際相手からの暴力（いわゆるデートDV）」の防止に向け、全国に先駆けて、（N）エンパワメントかながわとの協働により、電話相談窓口を本年1月から開設しました。

◇電話番号 050-3540-4477
◇日 時 毎週土曜14時～20時

性暴力被害者支援 24時間ホットライン設置

内閣府では、誰にも言えず悩む性暴力やDVの被害者支援を行うため、本年2月から2カ月間、24時間対応の無料相談ホットラインを設置しました。

◇電話番号 0120-941-826（フリーダイヤル）
◇受付期間 2月8日10時～3月27日22時

摂食障害と向き合う

～(N)のびの会 地域作業所MIMO'S A

今号では、摂食障害のある方の本人本位を支えるために、どういったかわりが必要となっているのか、地域作業所MIMO'S A（以下、「ミモザ」）のスタッフにお話を伺いました。

本人たちの居場所作りから

摂食障害とは、食べることの偏りを中心とした心の病で、食べない・食べられなくなりやせていく拒食症や、大量に食べることや食後におう吐する症状がある過食症の総称です。人間関係などの悩みや戸惑いから発症することも多くあり、特に思春期の女性に多く見られることでも知られています。

平成五年に、県内の医療機関にて、摂食障害のある方の当事者グループが発足されたことをきっかけに活動が始まり、平成十年には、地域の居場所として、地域作業所を横浜市金沢区に開所しました。作業所は女性限定なので安心感が

あり、また初期利用の際は半年の体験利用ののち登録が必要ですが、その後の参加は基本的に自由で、通いたい時に通えるという気軽さもあり、家庭や病院とは違った大切な場となっています。

回復に時間がかかる摂食障害

ミモザを利用している方たちの多くは、周囲から自分がどう思われているのか不安で、生きていくこと自体にも漠然とした不安感があるそうです。

そうした不安感が「（食べたものを）吐きたい」という気持ちを抱かせやすいのですが、ミモザは気持ちを受け入れながら、できる限り、おう吐や下剤を使用しないですむよう、回復に向けた関わりを心がけます。

本人は、プログラムのお食事会や障害に関する



気軽に集え、話せる安心感が生まれている

勉強会、遠出レクリエーションなどに参加しながら、症状がなぜ出るのかを理解することや、他者とのかわりに慣れていき、自分が大切にされていると実感できることなどの経験を丁寧を重ね、抱える不安感に自分自身で向き合うことが回復の一步となるそうです。

周囲の理解の広がりを

摂食障害は外見だけでは分かりにくく、周囲からの理解を得ることが難しく、本人からは「（摂食障害があっても）見て見ぬふりをしてほしいが、自分に気付いて関心を持つてほしい」と聞かれます。

スタッフは、病気の認知度は高まってきたことを踏まえながら、「十年かけて少しずつ回復する人もいます。その回復のしにくさへの理解が広まってほしい」と話されます。症状を回復させながら、本人らしく生きていくために、病院などに限らず、地域の中にミモザのような本人の気持ちに寄り添うことができる場所が広がる必要があるとなつていくのではないのでしょうか。

（企画調整 情報提供担当）

一般家庭から大型ビルまで最新のエレクトロ技術により安心と安全を提供します。



京浜警備保障株式会社

代表取締役社長 岡本 誠一郎

本社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内
☎(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1527

神奈川県福祉研究会

（税務・会計の専門家グループ）

理事 伊藤 正孝 ☎045-412-2110
同 桑江 郁男 ☎045-402-4433
同 辻村 祥造 ☎045-311-5162
同 西迫 一郎 ☎046-221-1328
同 林 雄一郎 ☎0466-26-3351
代表理事 八木 時雄 ☎042-773-9266

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒238-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
営業部 TEL045(785)1700 ☎ FAX045(784)8902
制作部 TEL045(785)1766 FAX045(780)1598
<http://www.kki.co.jp/>

みなとみらい線みなとみらい駅から 横浜美術館とTSUTAYAへ行こう！ (横浜市西区)

寒い日が続きます。家の中に閉じこもりたくなる毎日ですが、ちょっと気分転換しませんか。今回ご紹介の「横浜美術館」では親子で気軽に参加できるプログラムが催され、楽しい創作体験ができます。近隣の「TSUTAYA横浜みなとみらい店」には、周囲に気兼ねすることなく安心して利用できる親子カフェがあり、のんびりと過ごせます。

駅から美術館へのおすすめルート

みなとみらい駅はエレベーター完備。B3階にオムツ替えシートを備えたトイレがあります。横浜美術館へは3番出口（3月からは工事のため5番出口）が最寄りですが、ベビーカーの場合はエレベーターがある4番出口へ。出口を出ると通りの反対側に美術館の建物が見えます。左右にある交差点の横断歩道を渡り、建物の左右に伸びるスロープを昇ると美術館入口です。

描き・作ることで主体性が育まれる

横浜美術館は近代から現代にかけての国内外の美術作品を幅広く所蔵。これらはコレクション展や企画展で鑑賞でき、小学生以下は無料で入場できます。また、館内施設の「子どものアトリエ」では、子どもたちが美術に接し、体験できるプログラムを実施。まずはこちらに参加してみるのもよいでしょう。「親子のフリーゾーン」（大人1人100円、小学生以下無料）は月に原則3回、事前予約なしで参加でき、「ねんど」「えのぐ」「かみ」の3つのコーナーでそれぞれの素材を使って自由に遊べます。子どもたちが自分で絵を描いたり物を作ったりすることによって、考える力や集中力、コミュニケーション力などが身に付き、“自分で”することの楽し



床や壁一面の紙に自由にお絵描きできる親子のフリーゾーン。汚れてもよい服装で、着替えも用意したほうが安心

今月は ⇒ NPO法人

ままとんぎっず がお伝えします！

1993年、子育て中のおかあさんが集まり、子育てタウン情報誌「ままとんぎっず」を発行。子育てに関するメール相談、親子が集うサロン運営、各種講座の開催など、子育て支援活動を展開。情報誌・単行本の発行物は40冊を超え、一部は海外でも翻訳出版。最新刊「子育てしながら輝いて生きるー0～6歳育児を楽しむママたちの声ー」も大好評。2010年の内閣府「チャイルド・ユースサポート章」を受賞。

〈連絡先〉川崎市多摩区菅田堤3-5-43

TEL/FAX: 044-945-8662

さに気付きます。年間を通じた造形講座（事前申込制、有料）も開催され、横浜市外在住者も申込OK。プログラム開催日時などの詳細はHPをご覧ください。なお、子どものアトリエには授乳室、男性用と女性用のトイレにはオムツ替えシートやベビーカーが用意されています。

親子で気軽に立ち寄れるカフェ

TSUTAYA横浜みなとみらい店は、横浜美術館からいちょう通りを挟んだ向かい側に位置。店内の「KIDS CAFE」は子連れ優先席で、購入前の絵本や雑誌、併設カフェ店の飲食物を自由に持ち込めるほか、ままごとコーナーも設けられ、親子でゆっくりとくつろげます。また、月1回の英語の絵本の読み聞かせ会も行われ、人気です。



授乳室やオムツ替えシートを備えたベビールームもあり。読み聞かせ会の日程はHPにて確認

インフォメーション

■横浜美術館

電話 045-221-0300

10～18時（入館は30分前まで）、木曜休（祝日の場合はその翌日休）、臨時休あり

コレクション展は一般500円

<http://www.yaf.or.jp/yma/>

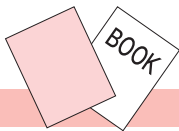
■TSUTAYA横浜みなとみらい店

電話 045-227-7676

10時～26時（併設カフェ店のみ7時～） 無休

<http://store.tsutaya.co.jp/storelocator/detail/1764.html>

◆ご意見・ご感想はkikaku@knsyk.jpまでお寄せください。



今月の福祉資料室

BOOK

◆利用時間:月～金(第3金曜日、祝日、
年末年始等を除く)の9時～17時
◆問合先:☎045-311-8865



私のおすすめの1冊

『現象学入門』

湘南医療福祉専門学校
介護福祉科専任教員
井澤 潤

竹田 青嗣

社会福祉の教育の場面では、「客観的な…」「客観性のある…」といった言葉をよく目にします。「客観性をいかに確保するか」「何をして『客観性がある』と言えるのか」、この事で悩んでいた際に、学生時代に聞いた「現象学」という言葉を思い出しました。現象学は「主観と客観」の問題に対し、完璧な答えを示している訳ではないですが、ある程度納得できる考え方を示しているように思います。

この本に出会った事によって、私自身のこの問題に対する考え方の幅が広がり、教育の幅も広がったように思います。「現象学」は自分以外の他者とかかわる対人援助職にとって、他者理解の一つの考え方を示していると思います。



1989年6月刊
定価966円(税込)
日本放送出版協会

新着資料



★神奈川力構想(この4年間の取り組み点検報告書(素案)概要版(県政策局政策調整部政策課))
★第30回旭区社会福祉大会・地域フェスタ(旭区社協・旭区役所福祉保健課)
★社会貢献事業報告書 平成21年度(大阪府社協)
★沖縄の小地域福祉活動・小地域福祉活動の取り組み状況調査結果報告書(沖縄県社協)
★事業概要 平成21年度実施状況(県立おおいそ学園)
★事業概要 平成22年版(横浜市総合リハビリテーションセンター障害者支援施設)

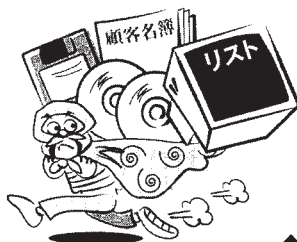
★事業概要 平成22年度版(社)青い鳥 横浜市南部・中部・東部地域療育センター)
★第31回九都県市合同防災訓練実施報告書(九都県市合同防災訓練連絡部会事務局)
★楽しみながらもつと元気に「さわやか健康プログラム」健康づくり支援サービスの取り組み(日本老人福祉財団)
★長寿社会開発センター助成事業 事業概要報告書2009(長寿社会開発センター)



※蔵書検索もご利用ください! http://www.knsyk.jp/s/shiru/tosyo_top.html

しせつの損害補償 プラン①。施設の業務中事故賠償補償②

●ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>



個人情報漏えい対応補償

この補償制度では、施設利用者の個人情報を漏えいし、施設(法人)が法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合も含みます)の損害賠償金等を補償します。またこの補償は、社会福祉施設を運営する社会福祉法人のみを対象としています。

◆補償金額

	Aタイプ
第三者への損害賠償に関する補償*	3,000万円
○損害賠償金 ○訴訟費用	
ブランド価値のき損を防止・縮減するための補償*	期間中 100万円
○クレーム対応費用 ○見舞品購入費用等	
免責金額(自己負担額)	0円

◆年額保険料(掛金) 保険期間1年

法人で運営している施設定員数	Aタイプ
～50名	27,000円
51名～100名	34,000円
101名～150名	41,000円
151名～200名	48,000円
以降1名～50名増ごとに	4,000円

補償内容

- 第三者への損害賠償
- 弁護士費用等の訴訟費用
- ブランド価値のき損を防止・縮減するための費用

※介護老人保健施設、有料老人ホームおよび病院は補償対象となりませんので定員数には入りません。
※訪問介護など利用者の自宅で行う居宅サービスなどの利用人数や施設の職員数は合算する必要はありません。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします

団体 社会福祉法人
契約者 全国社会福祉協議会

取扱 株式会社 福祉保険サービス
代理店 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(個人情報取扱事業者賠償責任保険)です。〈引受幹事保険会社〉株式会社損害保険ジャパン

* 第三者への損害賠償に関する補償およびブランド価値のき損を防止・縮減するための補償は、縮小して補割合90%でお支払いします。〈SJ09-08939.2010/02/19〉

再び犯罪に向かわないために

福祉の支援が必要な人の地域生活定着を目指して

刑務所等矯正施設の入所者の中に、高齢もしくは障害があるにもかかわらず、本来必要とされる福祉サービスを受けることなく、再犯につながってしまう人が少なくないことが明らかとなっています。こうした中、このような刑務所等出所者を円滑に福祉サービスにつなげるために、刑務所等への社会福祉士等専門職の配置や、都道府県に「地域生活定着支援センター」が設置されるなど取り組みが始まっています。

今号では、横浜刑務所、横浜保護観察所、神奈川県地域生活定着支援センターの取材を通して、刑務所等矯正施設出所者への社会的ケアについて考えます。

刑務所に多くいる高齢者や障害のある人

「刑務所を自分の家だと思っている人がいる」。横浜刑務所では、刑務所の高齢化の課題を実感しています。入所後、認知症が進んだケースですが、刑期を終えるまで退所することができません。自分の罪を償うために入所しています。「症状は進み、本人自身が罪を犯したことすら認識できず、受刑の意味が理解できない」と横浜刑務所の担当者は話します。

全国的に刑務所に入所している人の高齢化が指摘されている中で、横浜刑務所においても高齢者

の割合は高く、六十歳以上の入所者は、全体の約一八％（収容人数約千三百名）にのぼります。

また、刑務所に入所する際にいう知能指数を計るIQ検査から見ると、横浜刑務所の約二割の人が、軽度もしくは重度の知的障害が疑われ、中には字が書けない、読めない人もいます。

民間が関わった研究調査では全国の対象受刑者約二万七千人のうち知的障害が疑われる人が四百十名、うち福祉サービス利用にもつなげる療育手帳を所持している人はわずか二十六名と、福祉の支援の網からこぼれている人が少なくありません。

誰ともつながりがないまま出所へ

刑務所を出所した人の多くは、身元引受人が見つかるなどして、刑期中に退所し（仮釈放）、保護観察付で、保護観察所や保護司が関わりながら社会の中で更生していくこととなります。

一方で、身元引受人等がいないため仮釈放とならず、刑期を満期で終える人も少なくありません。

横浜刑務所の担当者は、「家族や親戚は、犯罪を繰り返してきた人を受け入れ、支えていく感情にはなりにくい。亡くなった時の本人の納骨も拒否されるほどの家族

関係もある」と言います。こうした周囲の感情もあり、頼れる人や帰るあてもなく、身一つで刑務所から出所する生活を余儀なくされます。

繰り返さざるを得ない犯罪

また、法務省の特別調査（平成十八年）によると、満期出所者が年間約七千二百人いるうち、高齢者または障害があり自立が困難な人が約千人いることが明らかになっています。

さらに、この中の六十五歳以上で五年以内の刑務所再入所率は七十％と高くなり、六十五歳以上の再犯者の約四分の三が二年以内に「再犯」におよぶと言われています。そうした犯罪の中には、「食べる物もなくなり、パンと飲み物を盗み、懲役となり、その後も刑務所への入所は、数回に及ぶ」といったこともあるそうです。



福祉的支援が必要な刑務所出所者への支援について
～更生保護施設の立場から

更生施設 甲突寮 施設長
更生保護施設 横浜力行舎
補導主任 三好 新一



更生保護施設とは、犯罪等を起こし、刑務所や少年院に収容され仮釈放を受けた人々などの受け皿になる施設です。一定期間で就職し、貯蓄をして、本来の社会生活を送る事ができるよう支援をする施設ですから、入所したその日からでも、求職や貯蓄、健全な生活力を得るなどの自助努力の支援をしています。しかし昨今は、高齢者、障がい者など、求職以前に解決しなければならない問題点を抱えた人が多くなってきた事も事実です。

今までもこのような人々が、社会から顧みられず、刑務所で生涯を終えるという人生を歩んでいる事実が多くあったにも関わらず、これらの人々を救いあげるような仕組みがほとんどないに等しかったのです。ところが、ここ数年でその制度が動き始めたのです。

地域生活定着支援センター制度発足以前から、横浜力行舎では保護観察所や福祉事務所等の協力で、高齢者、障がい者を福祉につなげるコーディネートの役割の一部を担ってきました。生活保護法による更生施設「甲突寮」を併設していますので、福祉につなげるノウハウは比較的持っているのですが、今後、刑務所等出所者の福祉の支援を得ていくためには、地域生活定着支援センター、保護観察所、福祉事務所等関連機関の連携が必須になります。

横浜力行舎は、明治時代に設立されました。その設立趣旨には、犯罪等を行った青少年を劣悪な環境に戻さず再犯を防止することや、刑務所内の障がい者社会復帰援助にあったと聞きます。この制度はそれらの原点を振り返る良い機会なのではないかと受け止めています。

(※寄稿のため「障害」を「障がい」と表記しています)

必要な支援につなぐ

横浜保護観察所の保護観察官は、「高齢者や障害者でありながら出所後、働くこともできず、住居もない。また、食べることもできない生活となっても、頼れる人がいないことで、次第に生活が行き詰まり、結果的にこのような犯罪をせざるを得ない状況となります。社会的な支えがあれば再犯を防ぐことができるのでは」と、本来は福祉の支援が必要な人たちがいることを訴えます。

福祉施設等が支援してきた事例も少なくありませんが、刑務所等にいる段階から、入所者で福祉的な支援の必要な人を見極め、出所後福祉サービスにつないでいく仕組みの必要性が明らかになりました。

横浜刑務所では、平成二十年から受刑者の福祉的支援のニーズを把握し、申請手続き等の助言を行う社会福祉士等が配置され、その役割にあたっています。

また、「神奈川県地域生活定着支援センター」(以下、「センター」が、平成二十二年十二月に、(社)神奈川県社会福祉士会に設置され(県委託)、横浜保護観察所からの

依頼で、県内の矯正施設入所で支援の必要な人の帰住先や福祉施設等への入所調整、他都道府県との受入調整など、福祉サービス等につなぐ役割を担うことになりました。また他県刑務所等からの本県に帰住を希望した人に対して、当面の住む場所の確保や生活保護申請に向け、福祉事務所との調整、入所施設への利用手続きといった支援を行います。

支援者と継続的なつながりを

刑務所の社会福祉士は、支援した人が、出所後のグループホームに馴染めず退所してしまった経験

から、「刑務所の規則の中で生活しているため、本人が他者とかかわることにはどの程度難しさを持っているかなどが見えにくい」と課題を感じています。

本人が、周囲と関わりながら社会生活を送ることに課題があるため、出所後も支援者とながっていることが必要です。

保護観察所・刑務所等矯正施設・センターが連携した取り組みが広がるだけでなく、本人の地域生活を支える支援者として、福祉関係者に期待される役割が大きくなっています。

(企画調整・情報提供担当)

児童福祉施設への匿名寄附、各地に

全国各地で児童養護施設を中心に匿名の寄贈が相次ぐ中、県内の児童福祉施設・団体にも多くの寄附が寄せられています。過去にも大規模災害時などに市民から集中して寄附が相次ぐことがありましたが、今回は、現金のほかランドセル、文房具、玩具のような物品などさまざまなものが寄せられています。また、漫画タイガーマスクの主人公「伊達直人」を名乗るなど、漫画の登場人物にちなんだ名前や匿名での寄附が多いのが今回の特徴といえます。本会児童福祉施設協議会の山川保会長（児童養護施設白十字会林間学校施設長）は次のように話しています。

「突然のプレゼントが多く施設に寄せられ、皆さまのお気持ちが大変嬉しく感じております。ご寄附いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。多くの児童福祉施設では、すでに地域の商店（組合）、個人などさまざまな方々のご理解ご支援を受けている場合も



「引き続きます」
支えをお願いします
と
ご協力をお願いします
と
山川保会長

あります。育ち盛りの子どもたちが多く生活しているため、子ども

たちの身の周りの生活用品を整えることが難しいこともありますので、こうしたご厚意をいただければご一報いただけるとなおりますが、ありがとうございます」

児童養護施設は、虐待、育児放棄などさまざまな要因により福祉的なケアを必要とする子どもたちが生活しています。生活環境は、いわゆる以前の大部屋から、家庭環境に近い小舎、ユニット型の個室方式になり、児童養護施設は大きく変わってきています。

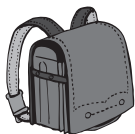
子どもたちが学校卒業後などに施設から地域社会へと自立する際には、アパートの入居経費、家財道具の準備など、多額の資金、物資が必要であり、世間並みに準備をするとなると更なる経済的な支援が必要です。

「子どもたちは、苦勞している分だけの大人の愛情を必要としていて、そのような行為をありがたく

受け止めています。施設から旅立ったあとも含め、子どもたちの生活を温かく見守っていただければ大変ありがたいです」と山川会長は期待を込めて語ります。

「本県には児童養護施設だけでも二十八施設、計千五百人の子どもたちが生活しています。また、母子生活支援施設などにも子どもたちがたくさん生活しています。こうした子どもたちを一層支援するために、個人、企業、団体を含め、皆さんで引き続き関心を持っていただくようお願いします」とも語ります。

本会では、すでに児童養護施設出身者への修学資金を支援する「萬谷児童福祉基金」「こども福祉基金」「かながわ交通遺児支援基金」のほか、広範な地域福祉を支援する「ともしび基金」などを設置・運営していますが、引き続き県民の皆さまのご理解ご協力を得ながら、福祉的なニーズのある子どもたちの支援を行っていきたいと考えています。



（社会福祉施設・団体担当）

地デジのご準備は大丈夫ですか？

7月24日 あなたのアナログテレビは見れなくなります。

地デジ無料訪問相談のお知らせ

地デジのご準備がお済みでない方、お困りの方で、ご相談を希望されるお宅を訪問いたします。お気軽に、下記へご相談下さい。



総務省 神奈川県テレビ受信者支援センター

- ・ 戸別訪問に関するお問い合わせは…045-633-9557（平日10時～18時）
- ・ 地デジに関するお問い合わせは…045-345-0110（平日9時～21時／土日祝日9時～18時）

地上デジタル放送簡易チューナーを無償給付します！

申込み方法などは、対象世帯によって異なります。詳しくは、下記へお問合せ下さい。

総務省 地デジチューナー支援実施センター

- ・ NHK放送受信料全額免除世帯は…0570-033840
- ・ 市町村民税非課税世帯は…0570-023724（ナビダイヤル） 平日9時～21時
土日祝日9時～18時

当事者の語りから学ぶ集い セルフヘルプ交流サロン

◇日時 ①2月22日(火) ②3月6日(日) ③3月7日(月) いずれも14時～16時

◇会場 ①②かながわ県民センター、③プロミティ厚木

◇内容 各語り手①犯罪や事故などで命を奪われた方の遺族の方、自死で子どもを喪った方、②精神障害のある兄弟姉妹をもつ「きょうだい」の方、薬物依存症の方の家族の方、③ギャンブル依存症の方、酒害に悩む独身者の方

◇対象 生きづらさを抱えている当事者、セルフヘルプ・グループ、社会福祉関係者、セルフヘルプ活動に関心のある方

◇定員 各回20名(先着順)

◇参加費 各回500円

◇申込方法 申込用紙にて郵送またはFAXにて申込

◇申込・問合先 かながわボランティアセンター

TEL 045-312-4815

FAX 045-312-6307

「弱い介入」それは当事者活動と関わるためのキーワード！セルフヘルプ実践セミナー

◇日時 3月15日(火) 14時～17時

◇会場 県社会福祉会館

◇内容 講義「視点を变えて支援する」(県立保健福祉大学教授臼井正樹氏)、事例発表・グループワーク「生きづらさを抱えた当事者を『つなぐ』(N)アレルギを考える母の会、被害者支援自助グループ「ピア・神奈川」

◇対象 当事者活動と関わりのある機関・団体、セルフヘルプグループのメンバー、セルフヘルプ活動に関心のある方

◇定員 30名(先着順)

◇参加費 無料

◇申込方法 申込用紙にて郵送またはFAXにて申込

◇申込・問合先 かながわボランティアセンター

TEL 045-312-4815

FAX 045-312-6307

介護の現場を伝えるシンポジウム開催

◇日時 3月5日(土) 13時30分～16時30分

◇会場 横浜市健康福祉総合センター

◇内容 基調講演「いのちの大切さから学ぶ」(めぐみ在宅クリニック院長小澤竹俊氏)、パネルディスカッション「福祉・介護現場の魅力」(障害福祉施設、高齢福祉施設、介護福祉士養成校)

◇参加費 無料(予約不要)

◇問合先 福祉保健研修交流センターウィング横浜

TEL 045-847-6672

FAX 045-847-6676

春の映画会「オーケストラ」上映のご案内

◇日時 3月10日(木) ①14時30分、②18時30分

◇会場 横浜関内ホール

◇参加費 前売券千円/当日券千二百円

◇申込・問合先 (福)横浜いのちの電話

TEL 045-333-6163

FAX 045-332-5683

寄附金品ありがうございました

「一般寄附金」脇隆志、日本農産工業(株)「交通遺児援護基金」(社)神奈川県畜産振興会、「こども福祉基金」積水化学労働組合、「としむき基金」(株)オフィス華名、(福)恩賜財団済生会若草病院、日本農産工業(株)

(計、一、四〇八、〇〇六円)

「寄附物品」横浜市港南台地域ケアプラザ、ともしび展示コーナーIOB会、(財)大妻コスタリカ記念会神奈川支部、神奈川県定年問題研究会

評価結果を公表しました

受審事業所一覧

No.	事業所名	所在地
1	グループホーム・アイウィッシュ	横須賀市
2	スカイホーム横浜	横浜市西区

本会地域密着型サービス外部評価事業として実施した2事業所の評価結果を公表しました。本会ホームページ(アドレス1面参照)、WAM-NET(<http://www.wam.go.jp>)等で公表しています。

—社会福祉施設の設計監理—

株式会社 安江設計研究所

東京都港区高輪 2-19-17-808

TEL 03(3449)1771(代) / Fax 03(3449)1772

E-Mail yasue@yasue-sekkei.co.jp

URL <http://www.yasue-sekkei.co.jp/>

新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・アスベスト調査等お気軽にご相談ください



田圃の事ならおまかせください
お気軽に相談ください！
株式会社 安江設計研究所
横浜市港南区下永谷 3-24-29
TEL 045-822-8497
FAX 045-824-1303
mail: anzai@p-anzai.jp



全員参加の店づくりを目指して

ともしびショップなのはな（中郡二宮町）

二宮駅より徒歩五分、菜の花の名勝地、吾妻山へ向う通り沿いに建つ二宮町民センター一階に、ともしびショップなのはな（以下、「なのはな」）が、昨年八月に開店しました。店名には、町のシンボルである菜の花のように「みんなに育てられ、愛されるような店に」という願いが込められています。

様々な出会いが財産になった

二宮町手をつなぐ育成会（以下、「育成会」）を中心に、ぴあの会、ぴあプラスなどの協力者と二宮町、二宮町社協が一緒になって話し合いを重ねることで基本方針を固め、支援スタッフには障害のある当事者の家族が協力を申し出てくれました。「例えば二十名の方が関われば、二十通りの考え方やアイデアが生まれます。それを受け止めて、何が最善なのか声にして意見を出

し合おうと決めました。それによつて、みんなのお店という意識が芽生え、どんなこともチャンスとして試していこうという気持ちが育ちました」と店長の平田光枝さんは振り返ります。

「県の育成会からは、ショップに関する経験や知識を余すことなく教えてもらい、他市の育成会が運営するショップでは、実習を受入れてもらいました」と話す平田さん。さまざまな人たちと出会えたことのありがたさ、その全てがなのはなの財産になったと語ります。

みんなの食堂を目指して

営業は月曜日から金曜日までの、午前十一時から午後三時半まで。隣接する町役場の職員が毎日食べにきてくれる「みんなの食堂」を目指して、栄養・味付け・値段の三拍子が揃った日替定食は、ワ

ンコインの価格設定。おいしく、健康になるという食育にも力を入れていきます。愛情のこもったおもてなしの評判は口コミで広がり、人が人を呼ぶようにお客さまに恵まれ、昼どきともなると二十一席の客席は満席、一日でお客様が百五十名を超える日もあります。

開所式で紹介される
3名のスタッフ



人気の日替定食



中郡二宮町二宮961-26
☎0463-70-1105

障害のあるスタッフ三名が、交代で開店当初から休むことなく働いています。三人の目標は間違えずに注文の品物を運ぶこと。よく通る声で、番号札を確認しながら料理を客席に運んでいきます。接客や調理のほかに、モップがけ、看板の用意、買い物など、「全員参加の店にしよう」を合言葉にみんなで分担しています。

笑顔だけは他店に負けないという店内は、冬の寒さを吹き飛ばすような笑顔に包まれています。

（ともしび運動推進担当）

広告

防火管理者の皆様へ

消防用設備等点検時には**無償**で点検推進指導員を派遣し防火管理者の立会を支援いたします。

災害時帰宅支援ステーション

（執筆）神奈川県温泉地学研究所 杉原英和次長

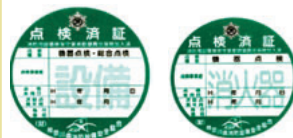
前号（710号）で、地震災害時に発生する帰宅困難者が多数発生すると想定されることを書きました。勤め先等から自宅まで徒歩で帰宅する場合、飲料水やトイレ、あるいは帰宅のルートなどの情報が必要になります。首都圏の九都県市では沿道の事業者に協力をお願いして、帰宅支援ステーションの配置を進めています。コンビニやレストラン、ガソリンスタンドなど神奈川県内では図のようなマークが入り口付近に貼ってあります。一度確認してみてください。

災害時帰宅支援ステーションのステッカー



左：コンビニ・レストラン等
右：県内のガソリンスタンド

消防用設備の 安心を保障します



（財）神奈川県消防設備安全協会
TEL 045-201-1908